

COVID-19 in Hospitalized Patients on Chronic Peritoneal Dialysis: A Case Series

Sachdeva M, et al.

Am J Nephrol 2020; 51: 669–673

DOI : <https://doi.org/10.1159/000510259>

COVID-19 in Peritoneal Dialysis Patients.

Hua-Jun Jiang, et al.

CJASN January 2021, 16 (1) 121-123.

DOI : <https://doi.org/10.2215/CJN.07200520>

腹膜透析患者のケースシリーズ研究

2つの腹膜透析(PD)患者のケースシリーズ研究を紹介します。

1つ目は米国ニューヨークで入院を要した11名のPD中のCOVID-19患者を記述しています。11名中3名が人工呼吸器を要し2名が死亡している。興味深い所見として11名中3名で経過中に3名が培養陰性の腹膜炎の診断を受けている。COVID-19罹患時2名がACE阻害薬を1名が免疫抑制剤を使用していた。治療内容はヒドロクロキシン6名、アジスロマイシン4名、トシリズマブ3名、mPSL3名、アナキンラ1名であった。

2つ目は中国武漢の4つの病院に通う810名のPD患者を対象とした検討になっている。このうち14名がSARS-CoV2感染流行期(2020.1-2020.4)に何かしらの理由で入院し、この際PCR検査を実施。8名(57%)が陽性であった。これより発生率は2.44/1,000 person-monthsとなっている。このうち2名が死亡。8名中7名でACEI/ARBの使用を認めた。治療は6名がオセルタミビル/アルビドール(抗インフルエンザ薬)、1名がクロロキン、ステロイド投与・人工呼吸器を使用した患者はいなかった。また、このうち1名が広域抗生剤を使用中に腹膜炎を発症し、その後血液透析に移行している。

要約作成者のコメント：

以前にここで紹介されたPD排液にVirusを認め除水不良を呈した報告[Vischini, et al. *Kidney international* 2020]があるが、この2つの報告ではいずれも少数ながらCOVID-19の経過中に腹膜炎の所見を呈している。COVID-19の腹膜透析患者の管理の際に除水不良を認めるなどあればこれらのレポートが病態理解の一助になる可能性がある。

要約作成者：昭和大学藤が丘病院 内科系診療センター内科(腎臓) /
昭和大学 統括研究推進センター

西脇 宏樹